

2006年3月期決算 及び 中期経営計画

2006年4月28日
JFEシステムズ株式会社

アジェンダ

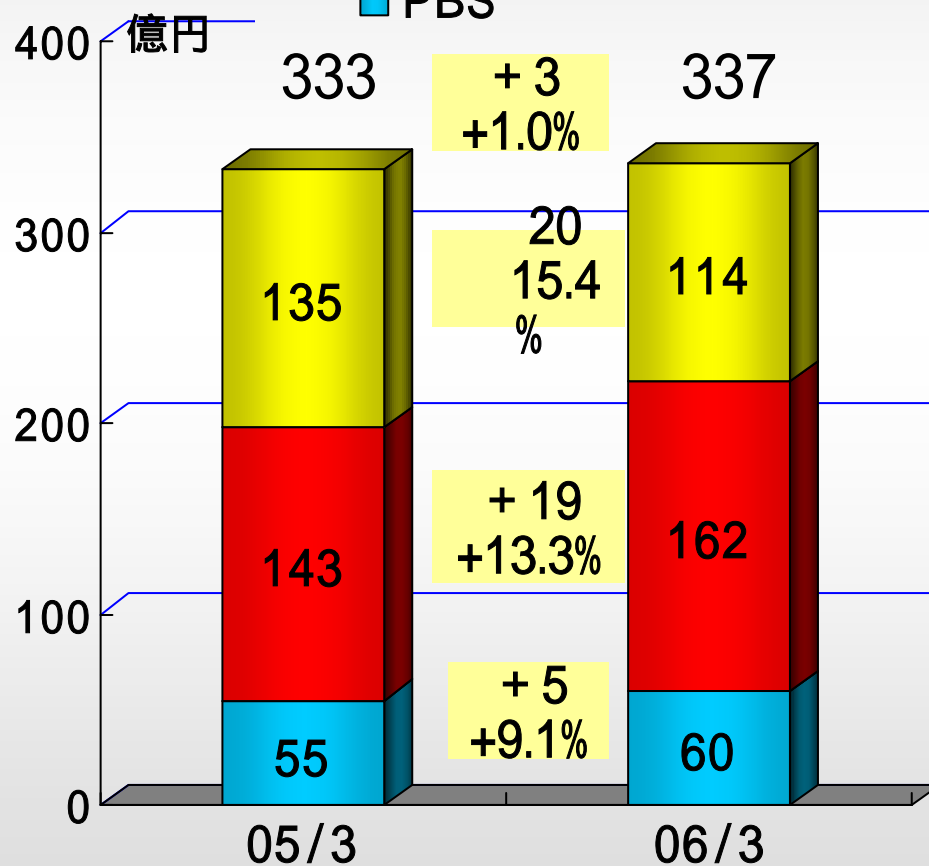
- 2006年3月期 決算概要
- 2007年3月期 業績見通し
- 中期経営計画の概要
(参考データ: 単体指標等)

2006年3月期の収益実績概要

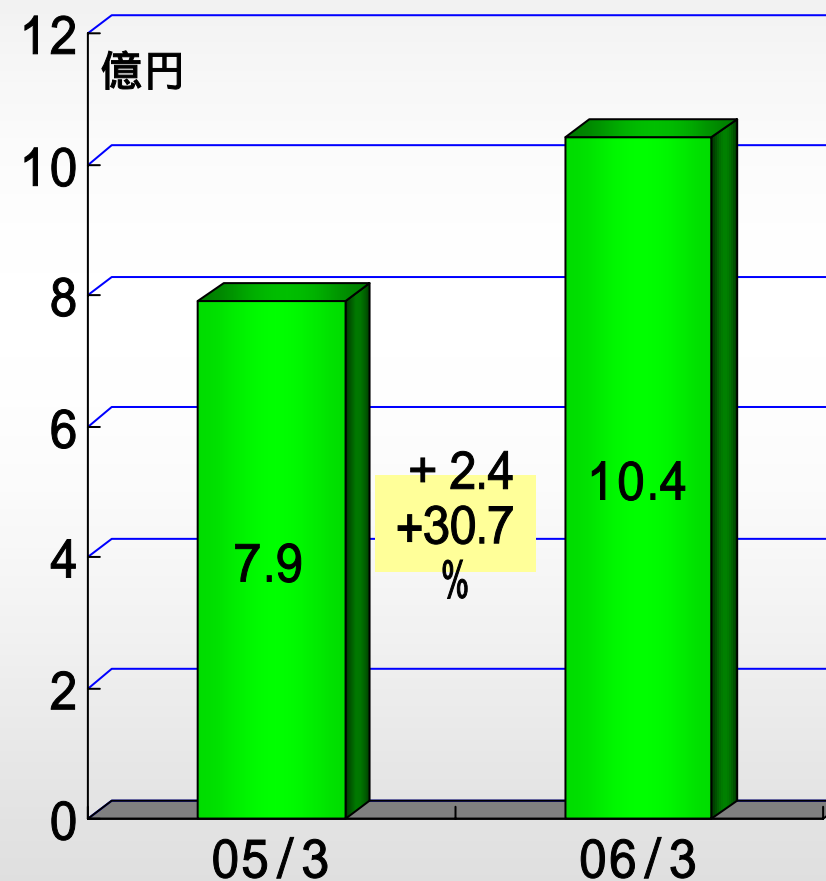


連結売上高

- BAS (JFEスチール向け)
- BAS (JFEスチール以外)
- PBS



連結経常利益



2006年3月期の業績(連結:対見通し) JFE

単位:百万円

	2006年3月期		増減	
	見通し	実績	金額	率
売上高	34,000	33,725	275	0.8%
経常利益	1,050	1,042	8	0.8%
(経常利益率)	3.1%	3.1%	-	-
当期純利益	440	491	51	11.6%
(当期純利益率)	1.3%	1.5%	-	-

2006年3月期の業績(連結:対前期)



単位:百万円

	2005年 3月期	2006年 3月期	増減	
			金額	率
売上高	33,392	33,725	333	1.0%
売上総利益	5,148	5,310	162	3.1%
(売上総利益率)	15.4%	15.7%	-	-
営業利益	794	1,070	276	34.8%
(営業利益率)	2.4%	3.2%	-	-
経常利益	797	1,042	245	30.7%
(経常利益率)	2.4%	3.1%	-	-
当期純利益	217	491	274	126.4%
(当期純利益率)	0.6%	1.5%	-	-

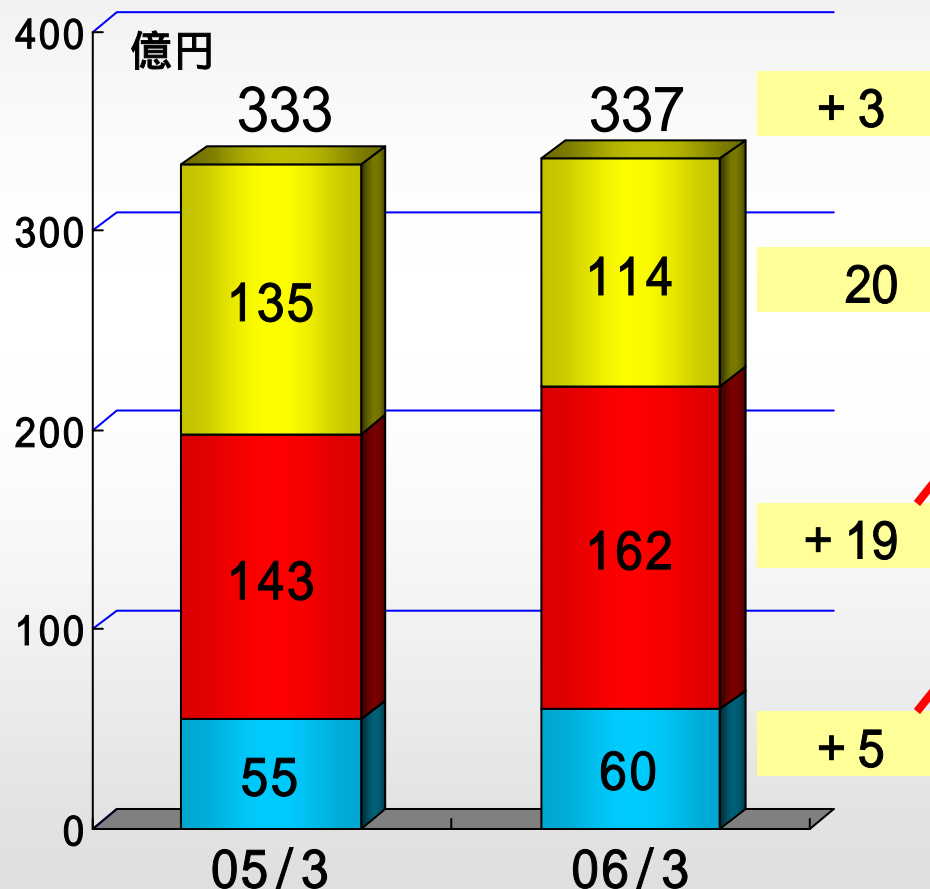
2006年3月期(連結:対前期)



売上高増減の要因

- BAS (JFEスチール向け)
- BAS (JFEスチール以外)
- PBS

億円



BAS事業 (JFEスチール以外) 増減

・JFEグループ向け	+ 10
・製造流通向け	+ 6
・金融向け	+ 3
合計	+ 19

億円

PBS事業増減

・コンタクトセンターシステム (大手通信向け案件等)	+ 3
・食品向け品質システム	+ 1.5
・その他	+ 0.5
合計	+ 5

2006年3月期(連結:対前期)



事業別売上総利益内訳

単位:百万円

	2005年 3月期	2006年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	3,870	3,943	73	1.9%
(売上総利益率)	13.9%	14.2%	—	—
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	1,278	1,367	89	7.0%
(売上総利益率)	23.2%	22.7%	—	—
全社計	5,148	5,310	162	3.1%
(売上総利益率)	15.4%	15.7%	—	—

2006年3月期 販管費、営業外損益、 特別損益の増減(連結:対前期)

■ 販売費・一般管理費： 114百万円

(05/3:4,354百万円 06/3:4,239百万円)

・広告宣伝費等経費削減

■ 営業外損益： 31百万円

(05/3: +3百万円 06/3: 28百万円)

■ 特別損益:+151百万円

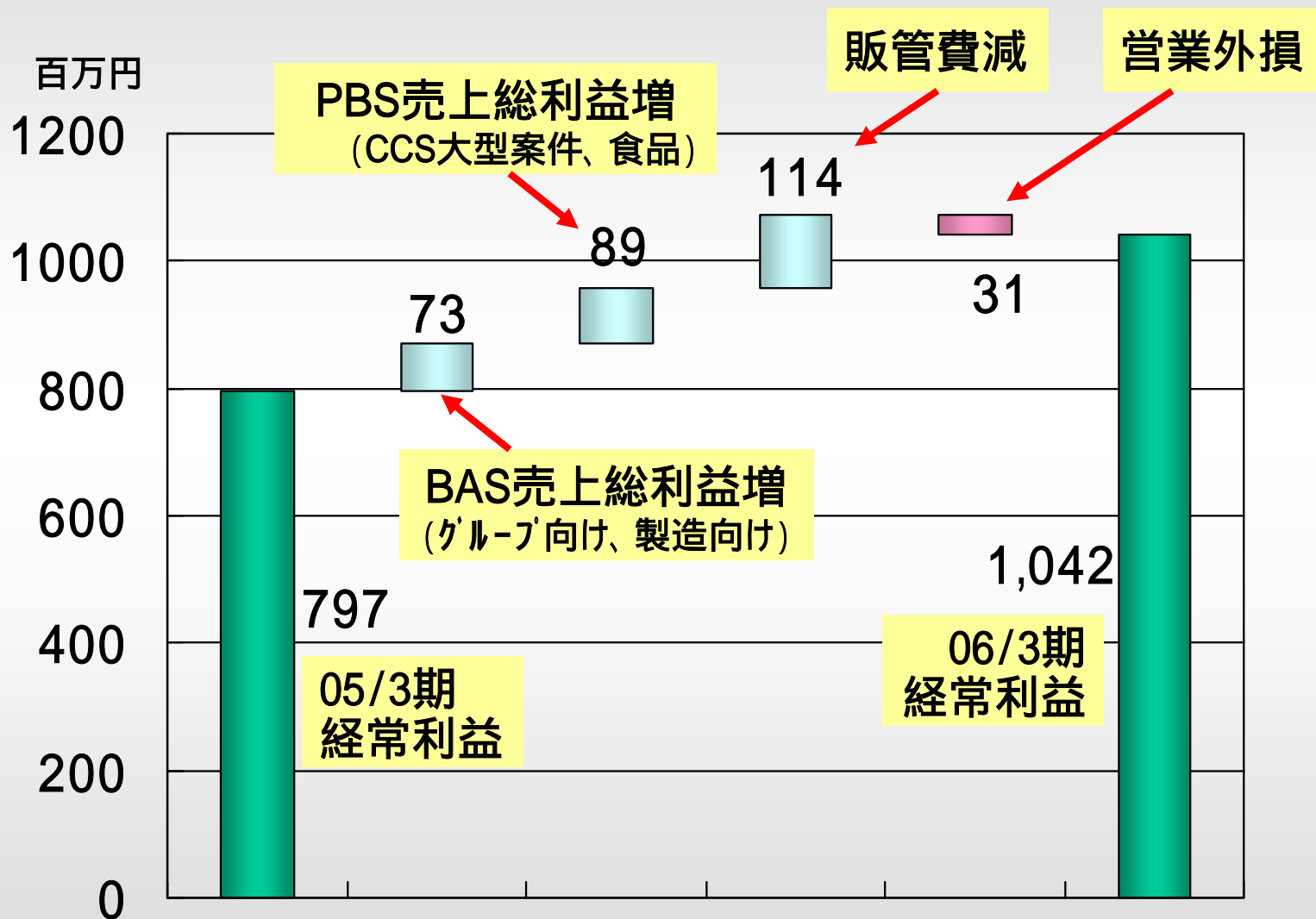
(05/3: 233百万円*1 06/3: 82百万円*2)

*1:本社移転費用、商号変更費用等

*2:特別利益+658(退職給付制度終了益等)

特別損失 740(棚卸資産評価損等)

2006年3月期(連結:対前期) 経常利益増減の要因整理



2006年3月期経営指標(連結)



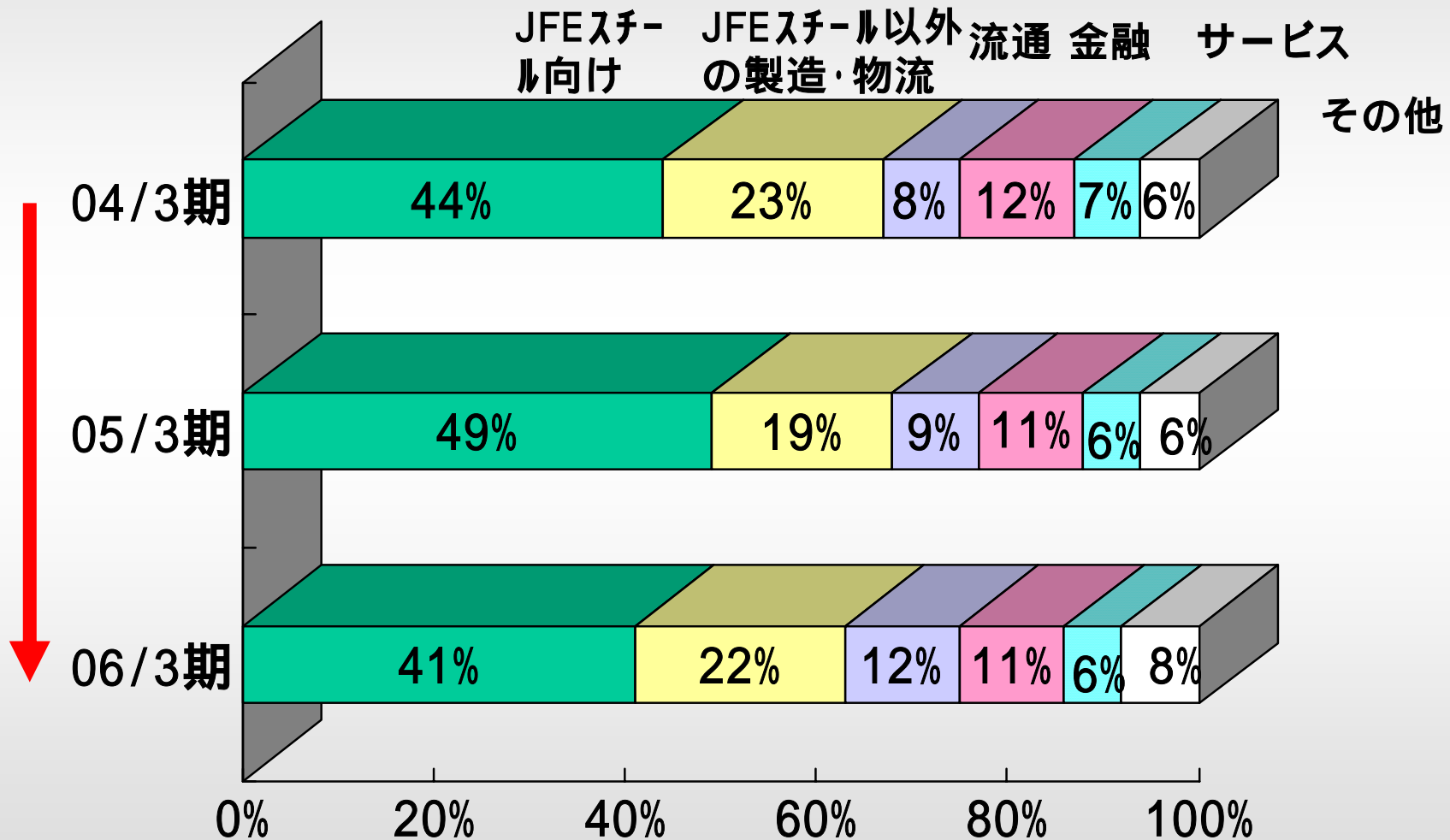
単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 実績	増減	
			金額	率
有利子負債	2,815	2,100	715	25.4%
株主資本	7,486	7,718	232	3.1%
総資本	18,176	16,340	1,836	10.1%
株主資本比率	41.2%	47.2%	-	-
ROE	2.9%	6.5%	-	-
従業員数(人)	1,555	1,550	5	0.3%
売上高/人	21.5	21.8	0.3	1.3%
経常利益/人	0.51	0.67	0.16	31.2%

2006年3月期



販売先業種構成(単体)



アジェンダ

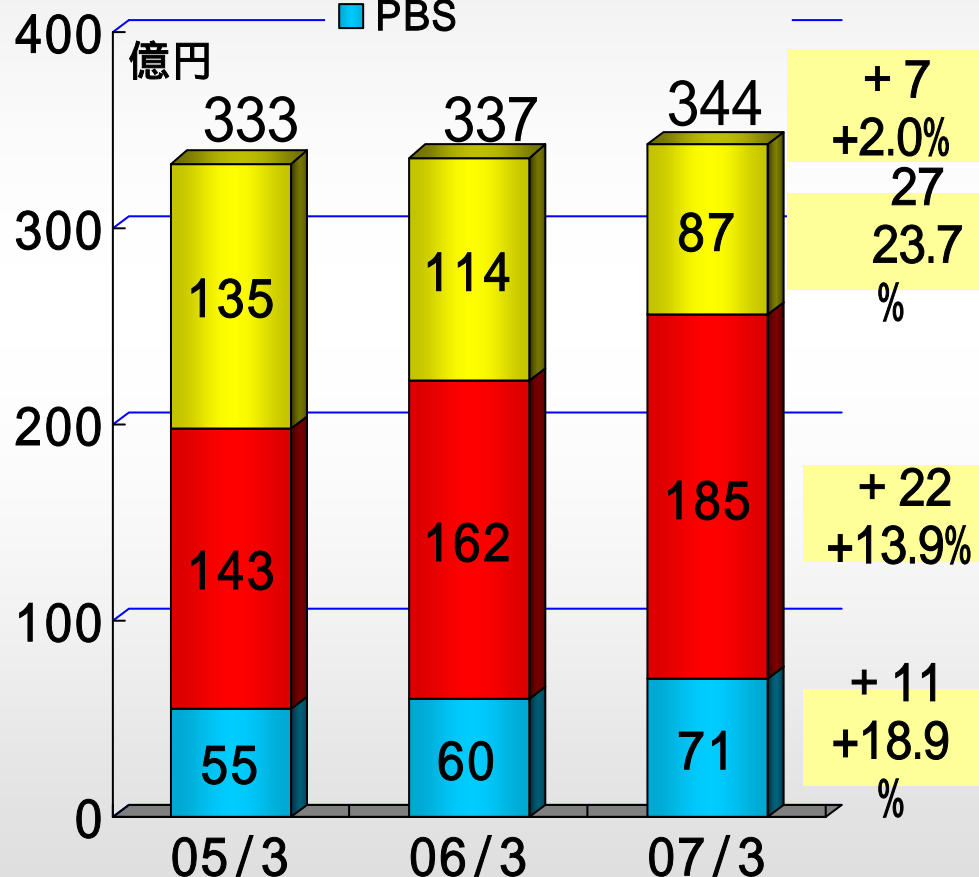
- 2006年3月期 決算概要
- 2007年3月期 業績見通し
- 中期経営計画の概要

2007年3月期の収益見通し概要

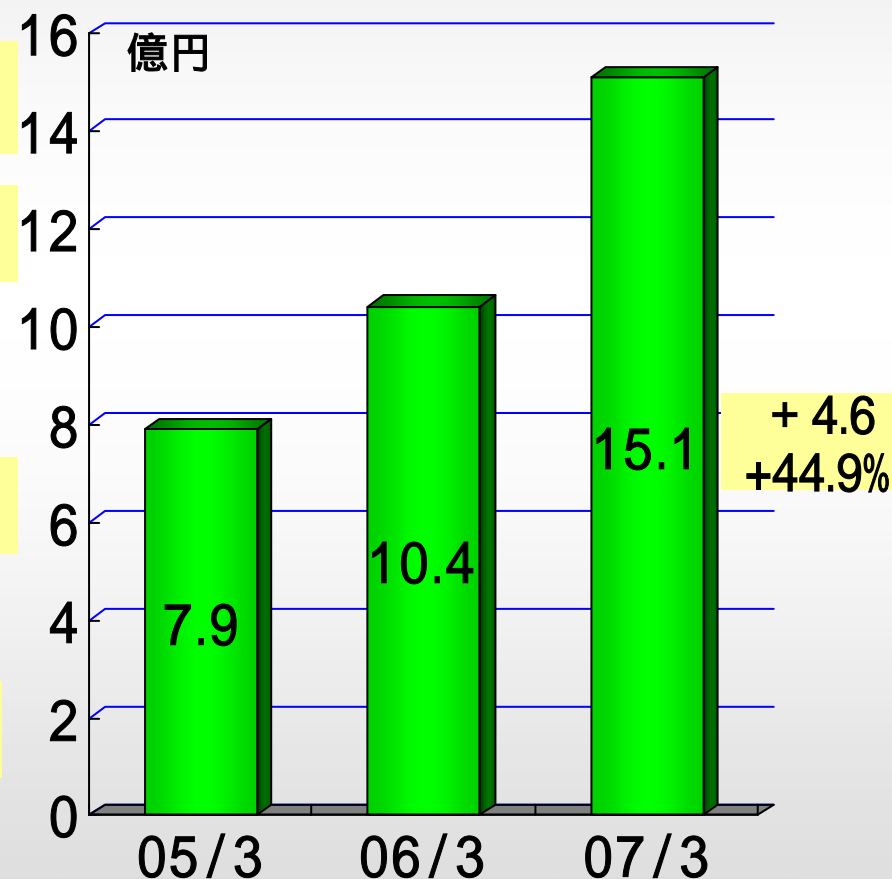


連結売上高

- BAS (JFEスチール向け)
- BAS (JFEスチール以外)
- PBS



連結経常利益



2007年3月期業績見込み(連結)



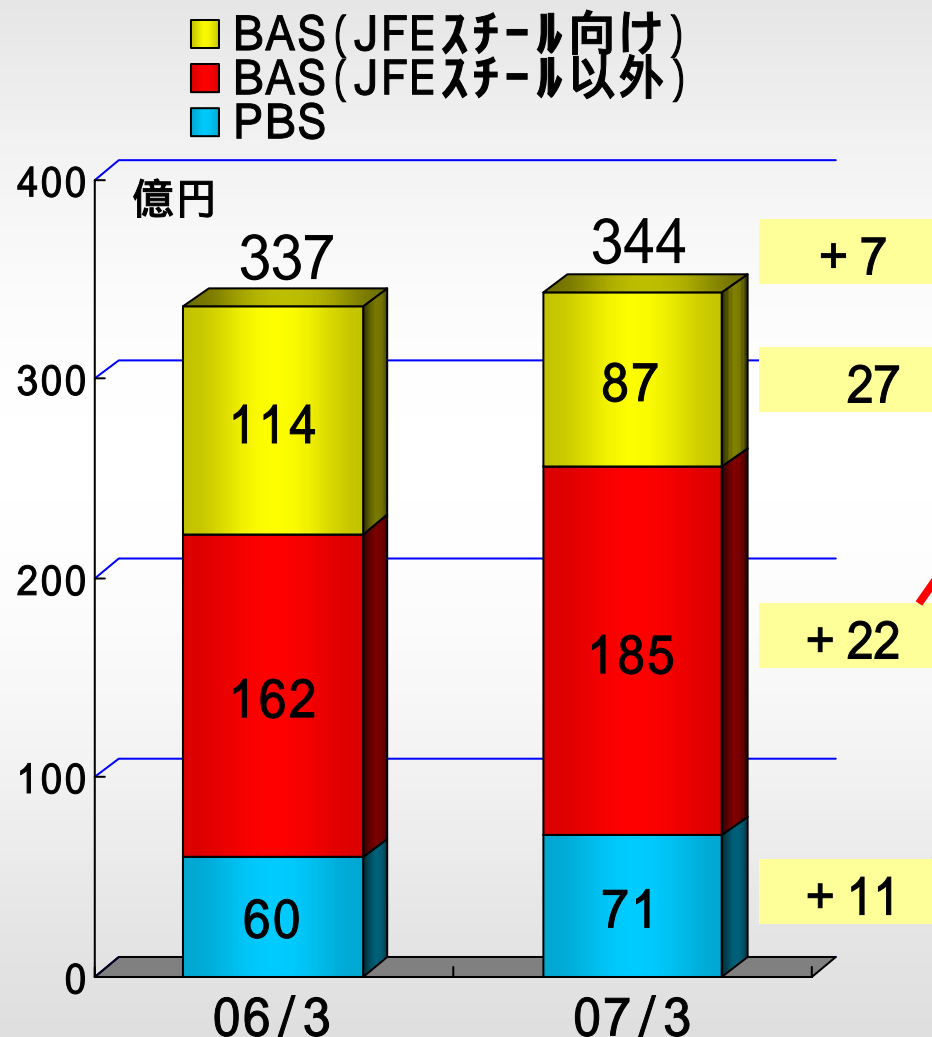
単位:百万円

	06/3期 実績	07/3期 見込	増減	
			金額	率
売上高	33,725	34,400	675	2.0%
売上総利益	5,310	6,400	1,090	20.5%
(売上総利益率)	15.7%	18.6%	—	—
営業利益	1,070	1,510	440	41.1%
経常利益	1,042	1,510	468	44.9%
(経常利益率)	3.1%	4.4%	—	—
当期純利益	491	730	239	48.7%
EPS(円/株)	6,263	9,296	3,033	48.7%

2007年3月期(連結)



売上高見通し増減の要因



BAS事業 (JFEスチール以外) 増減

・金融向け	+ 9
・組立型製造向け	+ 6
・金属/プロセス製造向け等	+ 7
合計	+ 22

PBS事業増減

・コンタクトセンターシステム (大手通信向け案件等)	+ 4
・食品向け品質システム	+ 3
・電子帳票システム	+ 2
・EC/EDI 等	+ 2
合計	+ 11

2007年3月期見込み



事業別売上総利益内訳(連結)

単位:百万円

	06/3期 実績	07/3期 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	3,943	4,710	766	19.4%
(売上総利益率)	14.2%	17.3%	—	—
PBS事業	1,367	1,690	323	23.6%
(売上総利益率)	22.7%	23.6%	—	—
全社計	5,310	6,400	1,090	20.5%
(売上総利益率)	15.7%	18.6%	—	—

2007年3月期見込み

販管費、特別損益の増減(連結)

■ 販売費・一般管理費：+636百万円

(06/3:4,239百万円 07/3:4,875百万円*1)

*1:営業強化、社内情報インフラ整備、研究開発等

■ 特別損益： 83百万円

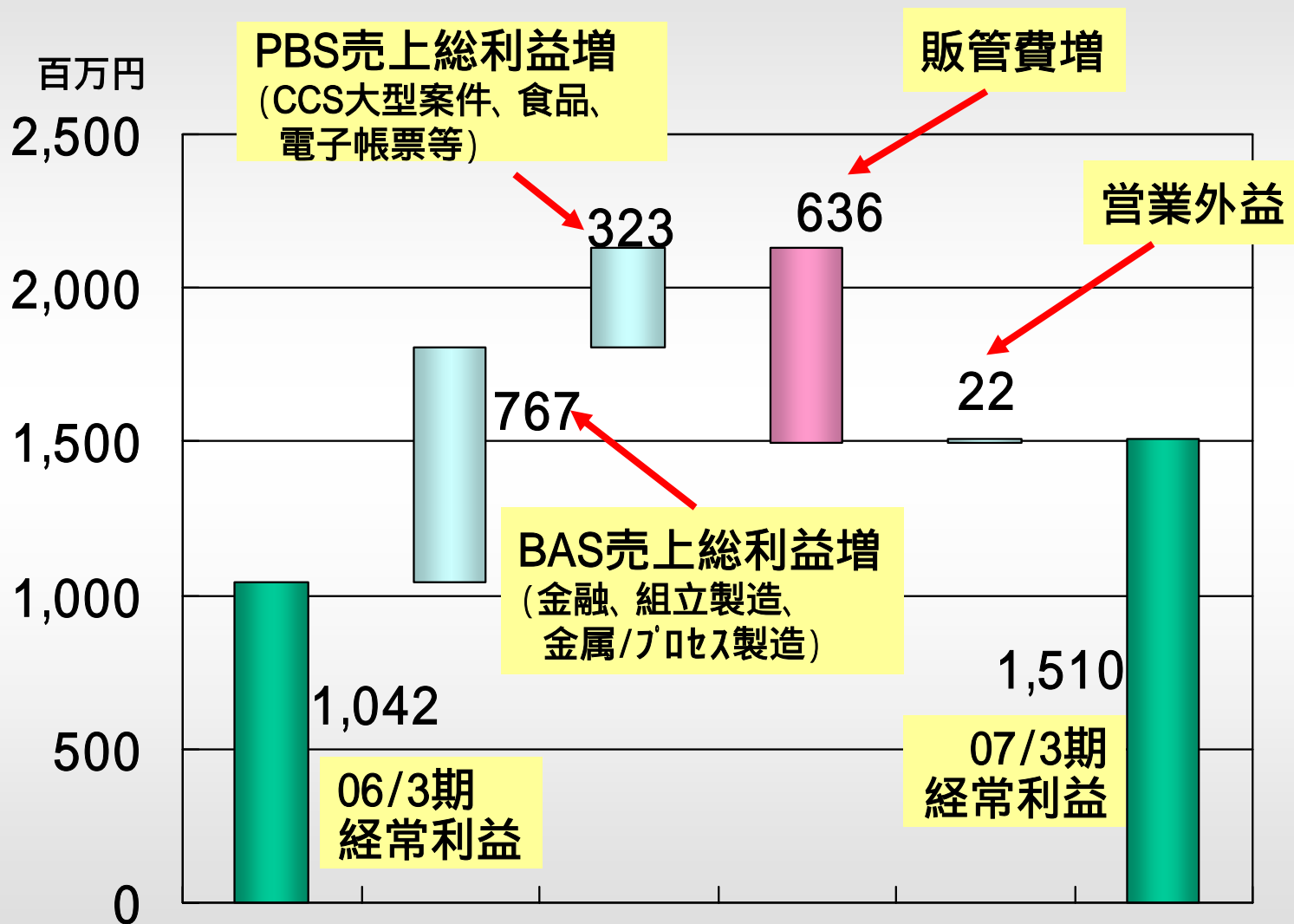
(06/3: 82百万円*2 07/3: 165百万円*3)

*2:棚卸資産廃却損、退職給付制度終了益等

*3:事務所移転費用 等

2007年3月期見通し(連結)

経常利益増減の要因整理



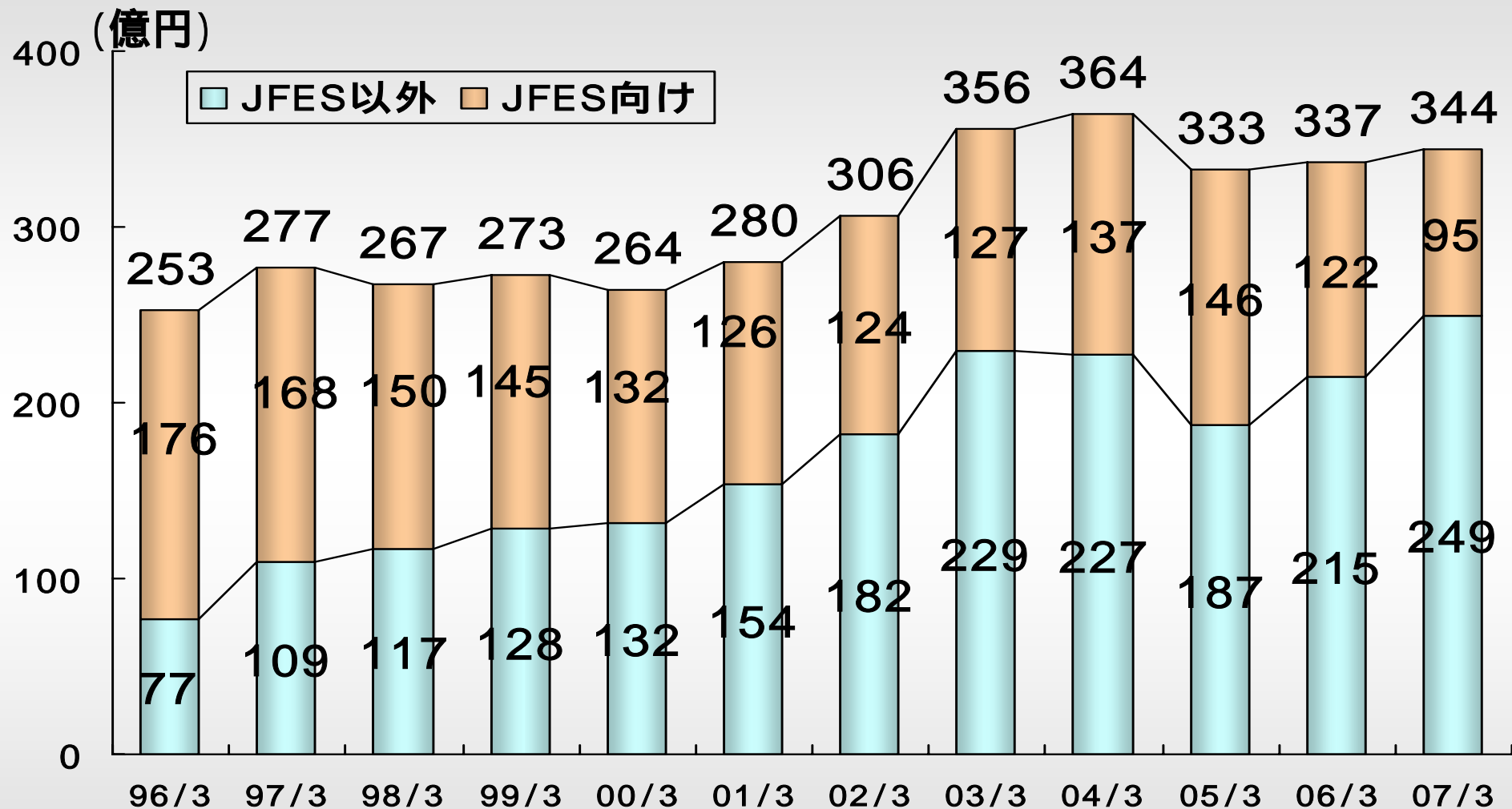
2007年3月期見込み 経営指標(連結)



単位:百万円

	06/3期 実績	07/3期 見込	増減	
			金額	率
有利子負債	2,100	1,900	200	9.5%
株主資本	7,718	8,220	502	6.5%
総資本	16,340	17,540	1,200	7.3%
株主資本比率	47.2%	46.9%	-	-
ROE	6.5%	9.2%	-	-
従業員数(人)	1,550	1,542	8	0.5%
売上高/人	21.8	22.3	0.6	2.5%
経常利益/人	0.67	0.98	0.31	45.7%

売上高の推移



(注) 03/3期以降は連結売上高を記載

(見込み)

アジェンダ

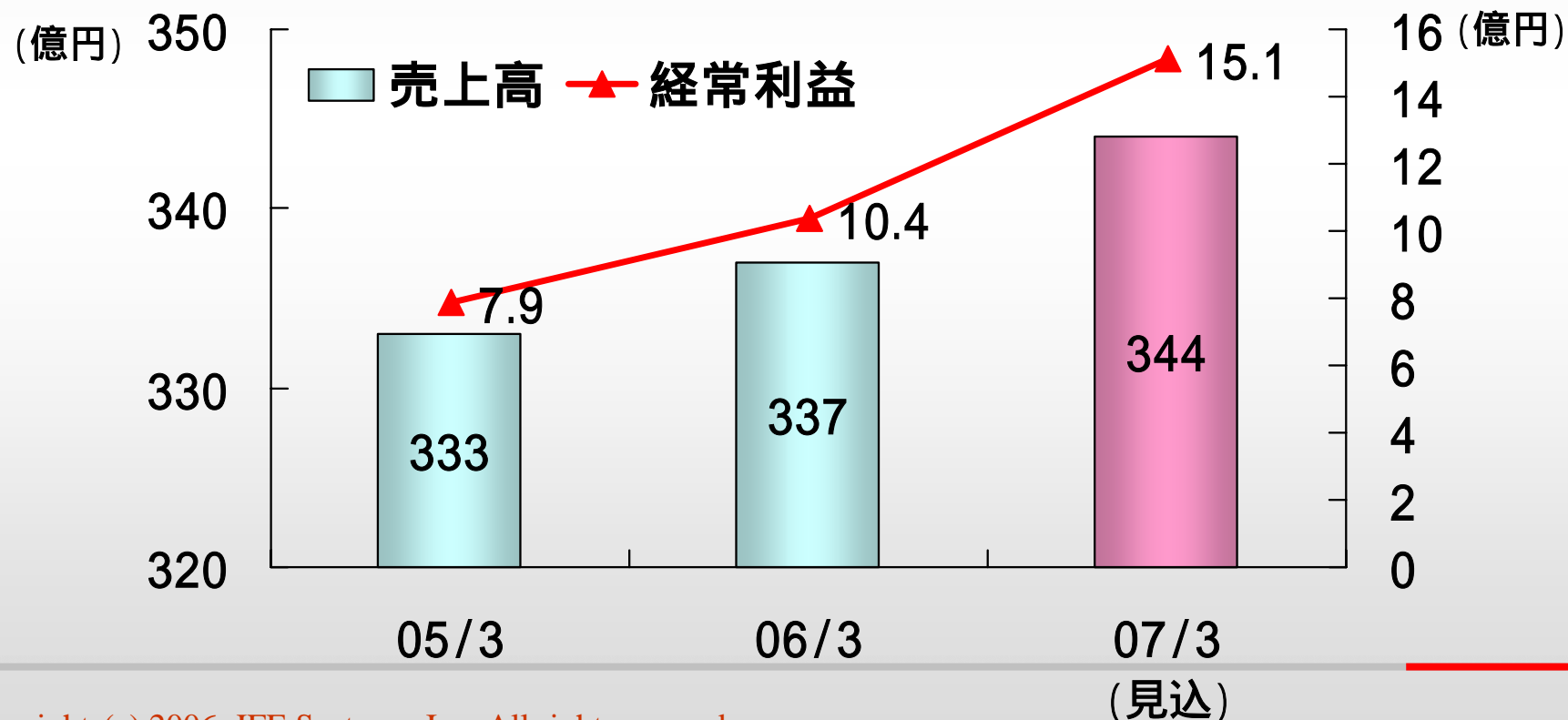
- 2006年3月期 決算概要
- 2007年3月期 業績見通し
- 中期経営計画の概要

前回中期(05/3~07/3)の総括



目標(売上500億円、経常利益30億円)達成は次期中期へ

- 不採算案件の発生
- 市場回復の遅れ 中期施策の成果顕在化の遅れ
- M & Aの未実現

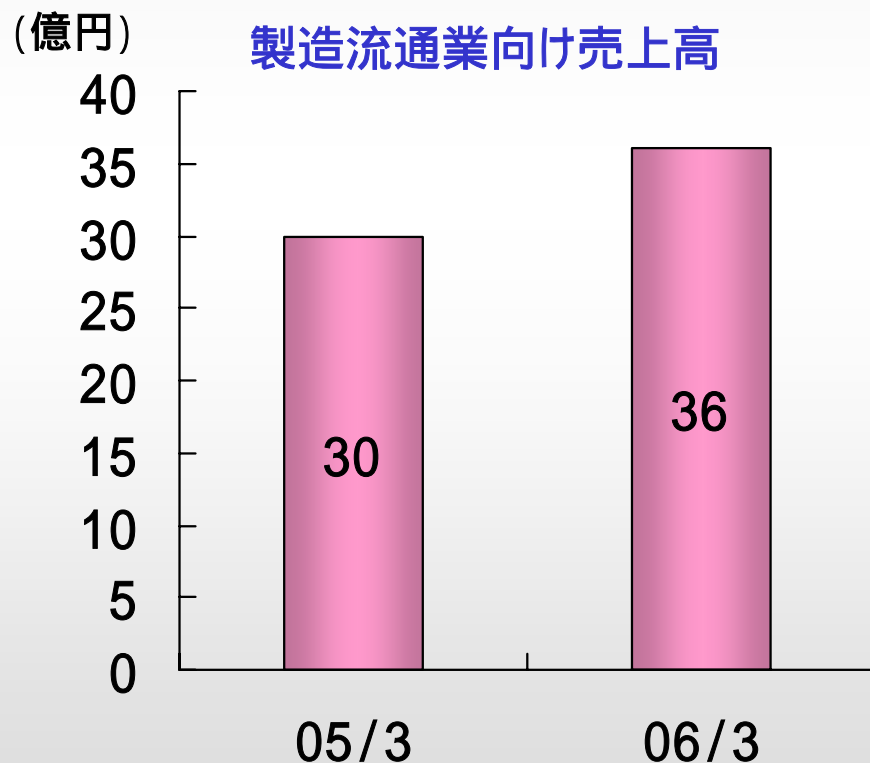


前回中期(05/3~07/3)の成果



製造業向け事業拡大への糸口

- 組立系有力新規顧客への参入(大手自動車、大手建機etc.)
- プロセス系大型商談の拡大(大手製紙、大手金属etc.)

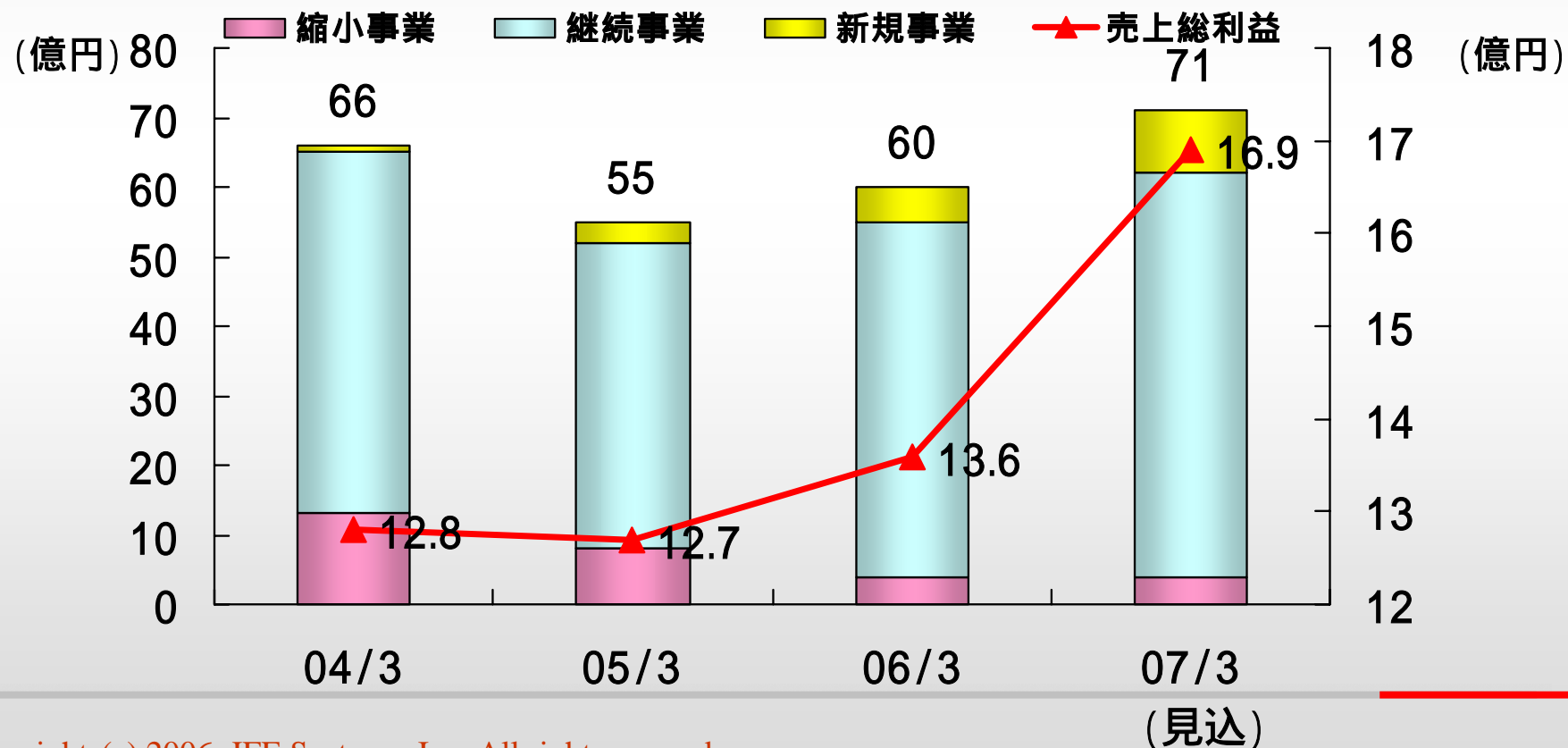


前回中期(05/3~07/3)の成果



プロダクトベースソリューション事業の収益改善

- 新製品の立上げ 「Mercrius」 「RapidResponse」
- 高収益プロダクトへの集約・強化 「FiBridge」 「Openway FT」




前回中期(05/3～07/3)の成果



JFEスチール新統合システム「J-Smile」の完遂 —大規模統合の成功事例—

「J-Smile」
JFE Strategic
Modernization & Innovation
Leading System

- 
- 総投資額300億円、プログラム規模2,000万ステップ
(処理1件当りの項目数は金融の300～600倍)
 - 鉄鋼基幹システムを世界で初めて全面オープン系技術で開発
 - データモデリングと部品組立型開発の採用
高品質、高開発生産性
ビジネス環境の変化に柔軟に対応(メンテナンスコストミニマム)
 - 大手ベンダーに依存しない「自力開発(JFEシステムズとエクサの共同開発)」
 - JFEスチールは年間100億円の経営効果を見込む

当社固有の技術として中期事業展開に活用

中期計画最終年度(09/3)到達目標



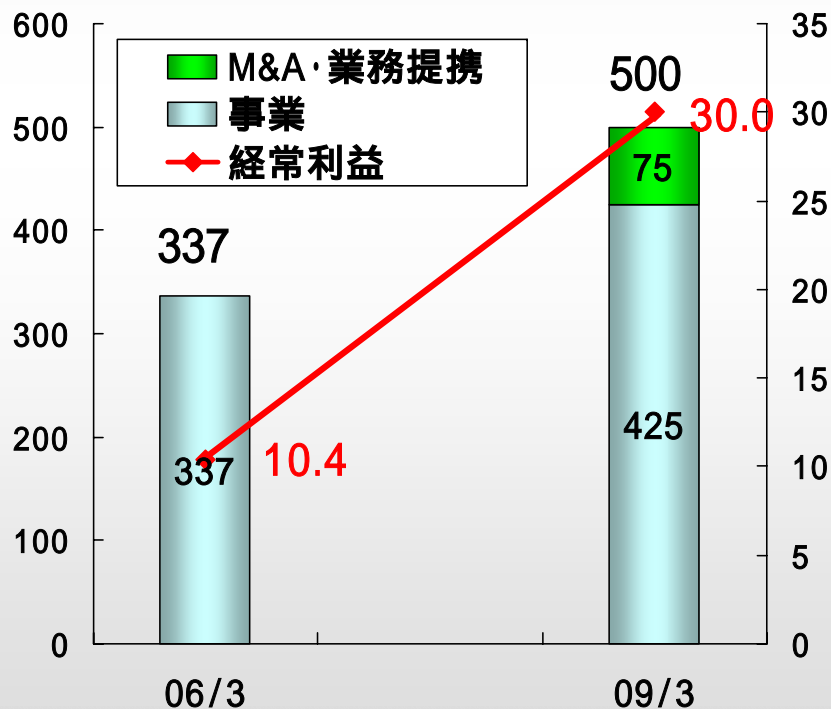
連結売上高500億円

連結経常利益30億円

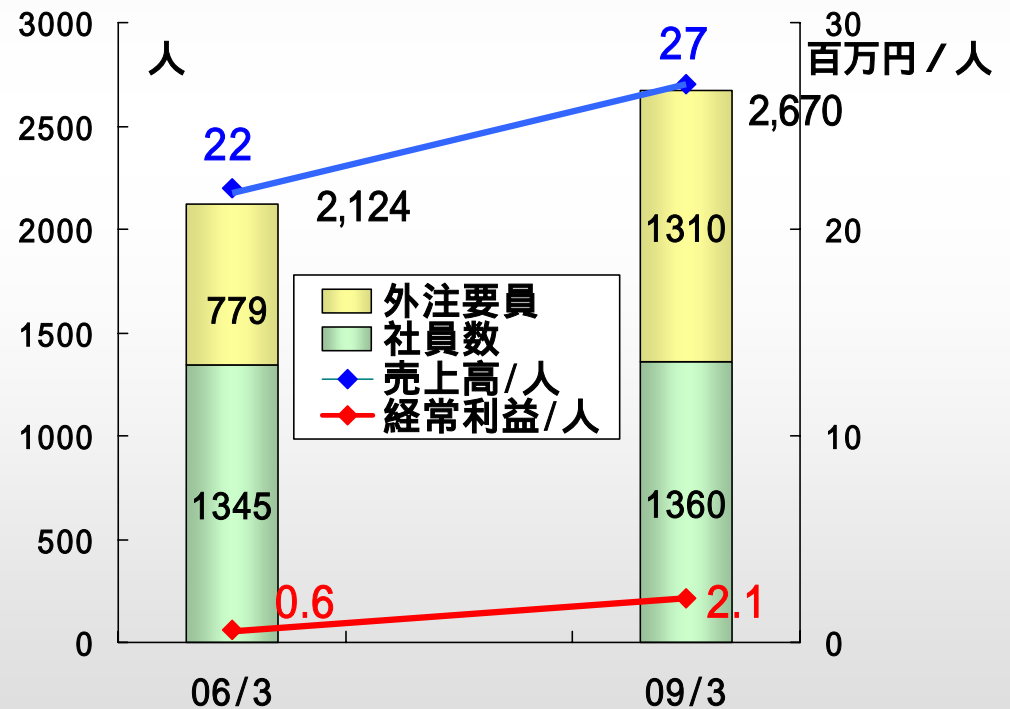
■ 1人当り売上高 27百万円/人

■ 1人当り経常利益 2.1百万円/人

億円 売上高、経常利益の目標



社員1人当り売上高、経常利益の目標(単体)



中期計画重点課題



前回中期計画の評価および事業環境の変化をふまえ、商機、商材、人材の観点から、下記の3テーマを今後の重点課題として位置付ける。

安定顧客基盤確立

- 製造業アカウント受注の拡大
- 金融IT需要への対応・リソース投入
- 運用サービス事業の拡大

コアソリューションの装備

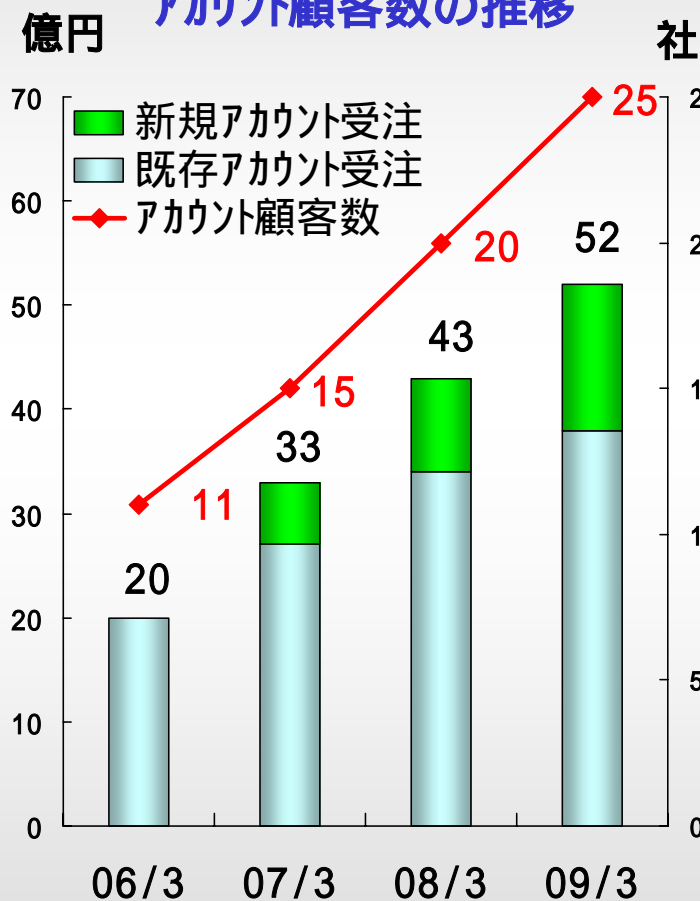
- 高収益プロダクトへの集中と強化
- 製造業独自ソリューションの開発

開発要員体制の強化

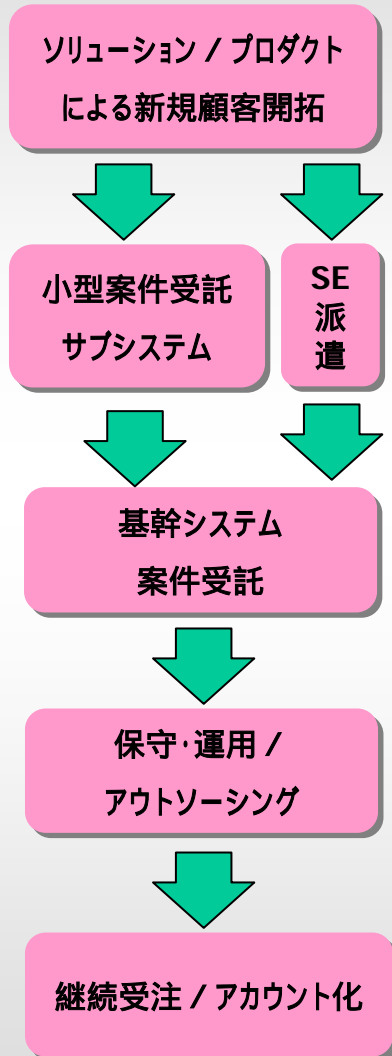
- スチール 外販のリソース共有・一体化
- 上流工程技術者の増強
- 戦略的アライアンスの推進

製造業アカウント受注の拡大

製造業アカウント受注および
アカウント顧客数の推移



アカウント化プロセス



新規アカウント顧客の獲得

- 独自ソリューションの展開
 - ・原価 ・人給 ・EC ・計画
- ソリューション営業の強化
(06/4月組織改正)
- 独自営業ルートを活用
 - ・JFEルート ・他社アライアンス

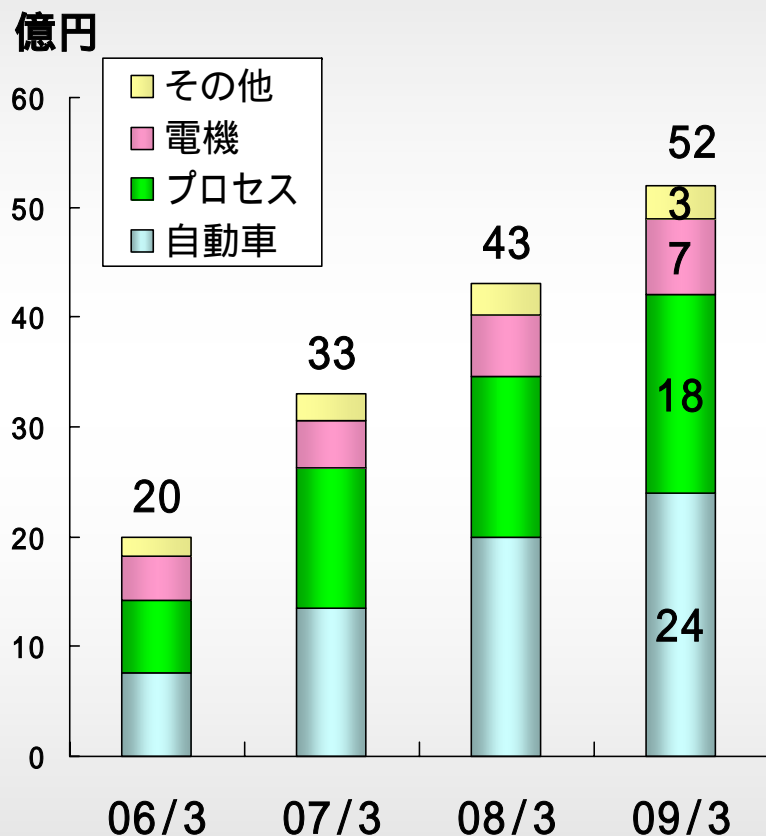
既存アカウント受注の拡大

- ターゲットの明確化・絞込み
- アカウントマネージャー制の導入
- 運用サービスの提供拡大
 - ・「JGranzNIC」
- 基幹システム案件の受注

製造業アカウント受注の拡大



製造業アカウント受注の推移(業種別)



自動車・建機向け

大手重点顧客を軸に展開

- 既存大手自動車顧客の拡大・ノウハウの活用
・電子調達システム(10年以上の経験)
- 新規大手顧客(自動車・建機)の拡大
- 部品メーカーへの展開

プロセス製造向け

鉄でのノウハウを最大限活用

- 金属業界向けに重点的にアプローチ
・金属営業部を新設
- 製紙・エネルギー-既存有力顧客の拡大

電機向け

独自プロダクトを軸にアプローチ

- 独自プロダクト展開(EC、RapidResponse)
- 業務提携推進(ex.イブソンアウアシス)

金融向けSI事業の拡大

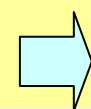


< 金融向けSIの特徴 >

- 最高レベルの品質が要求される
- 大規模 外注含むプロマネ力が必要

< 市場環境 >

- 金融機関の業績の大幅向上
- カード業界の再編



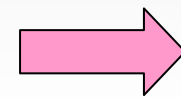
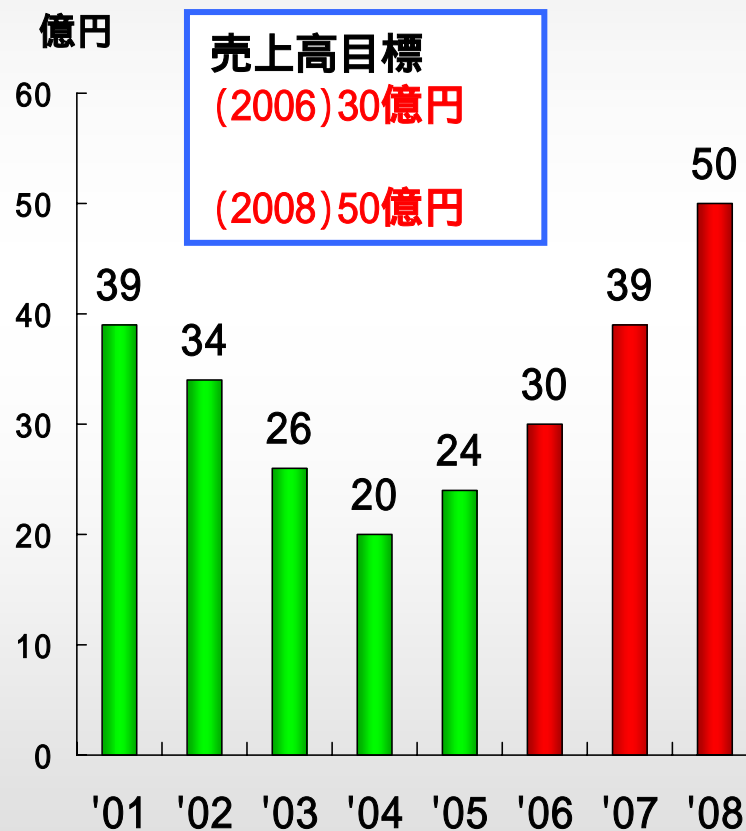
IT投資の
急速な拡大

< 当社の評価 >

- プロマネ、品質が高評価

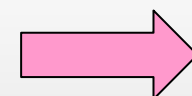
< 主要顧客・業務内容 >

顧客	主なシステム
A銀行グループ	国内勘定系 年金資産 海外店、外為
Bカード会社	DB移行、保守
C信託	年金、証券
D銀行グループ	勘定系統合 信託統合
E損保	自動車保険



要員リソースの
対応

- 社員70名 倍増
- 外注の確保



単価up

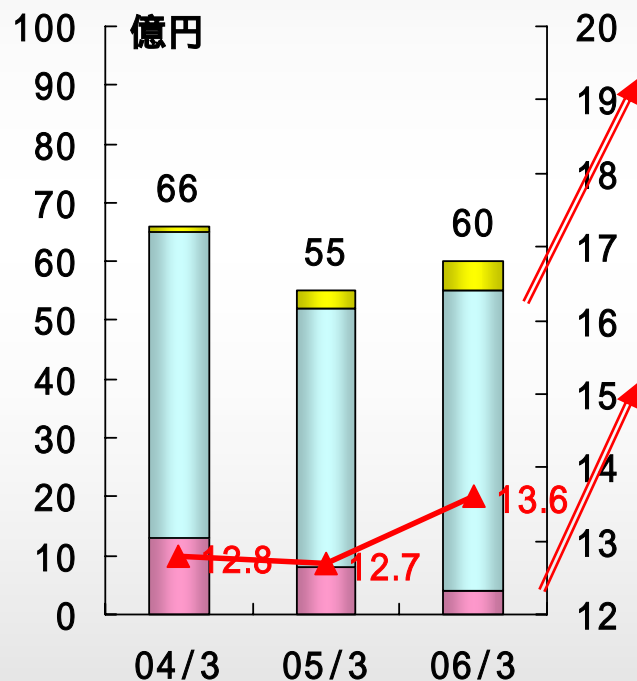
- 要員逼迫を背景に顧客と交渉

プロダクトベースソリューション事業の展開



売上高(04/3~06/3)

■ 縮小事業 ■ 継続事業
■ 新規事業 ▲ 売上総利益



既存高収益事業
への集中と拡大

■ FiBridge (電子帳票)
 オープン系対応、JSOX需要
■ Mercrus (食品)
 中小展開、他業種展開
■ OpenwayFT (ファイル転送)
 収益維持を優先

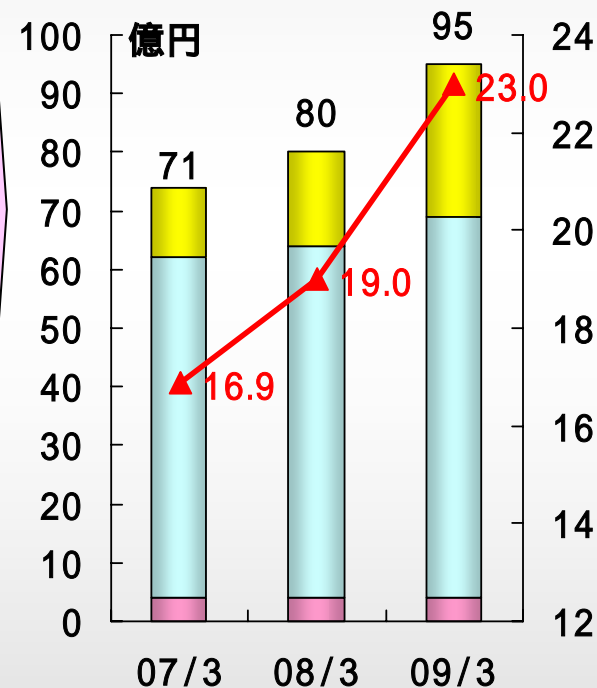
■ コールセンターシステム
 好採算業務に特化

新規プロダクトの
立上げ/展開*

■ 原価 JSOX需要
■ SCM

売上高(07/3~09/3)

■ 縮小事業 ■ 継続事業
■ 新規事業 ▲ 売上総利益



* 研究・商品開発投資18億円(3ヵ年)を予定

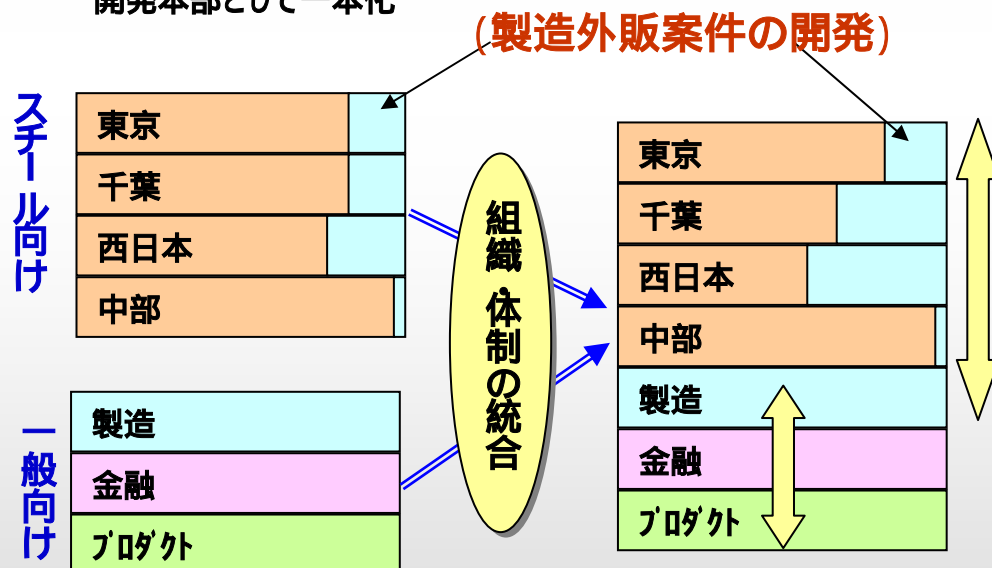
開発要員体制の強化

スチール 外販の体制一本化

開発要員の柔軟な配置・活用へ

06.4組織改正による開発組織の一本化

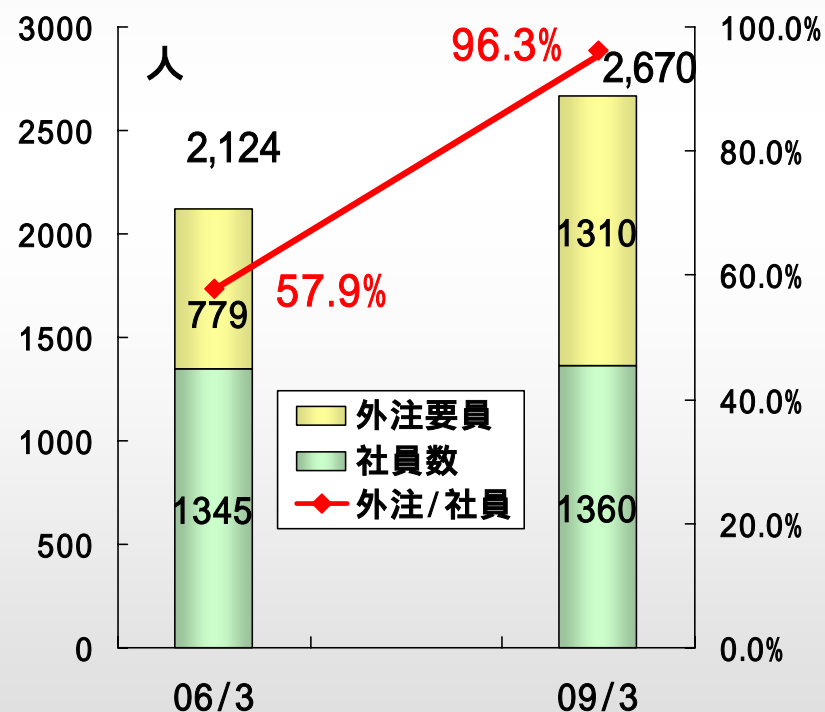
*スチール向け開発拠点である事業所と外販向け開発部門を開発本部として一本化



最適要員構成の設計

外注マネジメント力を強化し、直社員一定で外注活用を拡大。

要員および外注比率の推移



M&A及び業務提携の推進



M&A及び業務提携により売上高75億円増を目指す

過半数出資による統合・買収
(M & A)

(推進中)

- ・事業領域の拡大
- ・新規事業領域獲得

少数出資または資本関係
のない業務提携

Ex. 日揮情報、エプソンアヴァシス

- ・営業ルート of 拡大
- ・技術/商品の共同開発
- ・開発要員の相互活用、人材交流

JFE
システムズ

戦略的業務提携事例



< 日揮情報システム株式会社との提携について >

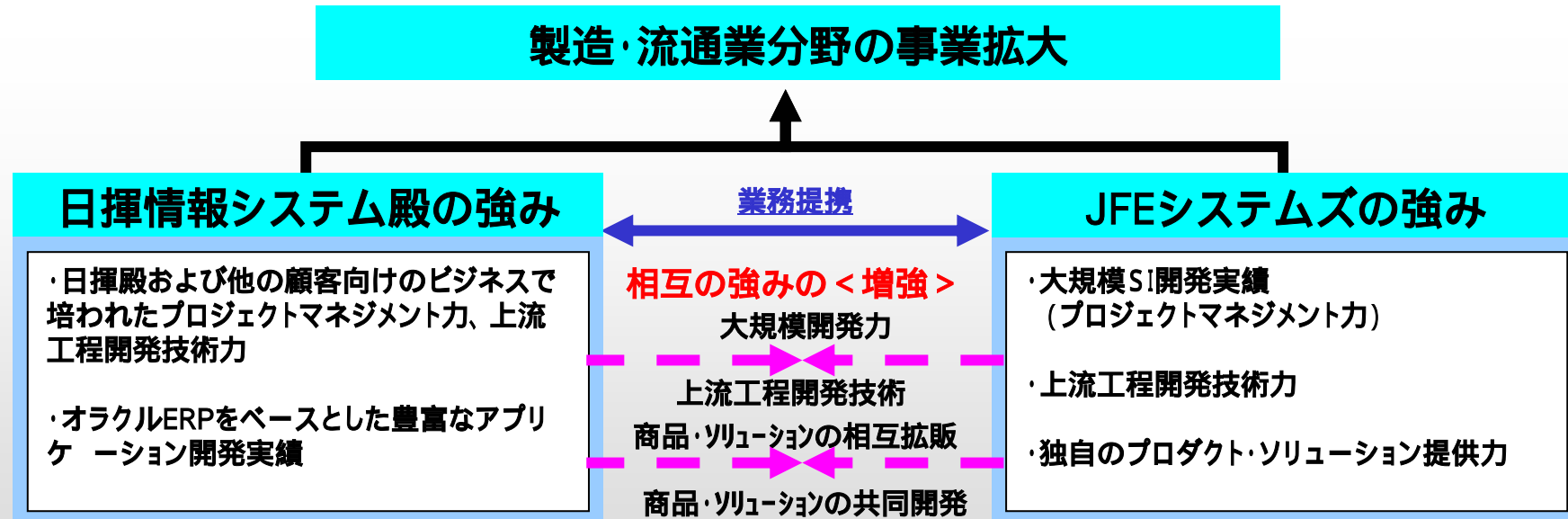
- 業務システム開発(上流工程)、主力商品事業(Mercrus PLANTIA等)に関する共同展開を行う。
06/3末に業務提携契約に調印。

< 日揮情報システムの概要 >

(本社)横浜市 (売上高)76億円(05.3期) (従業員)322名 (株主)日揮100%
(事業)日揮向けアウトソーシング、業務システム開発(オラクルERP)、設備管理システム「PLANTIA」等

< 提携の目的 > 08年度売上寄与15億円を狙う。

- ・プロマネ、上流工程技術者の増強
- ・システム商品のラインアップ'拡充、共同展開(拡販、セミナー等)



戦略的業務提携事例

< エプソンアヴァシス株式会社 (EA社) との提携について >

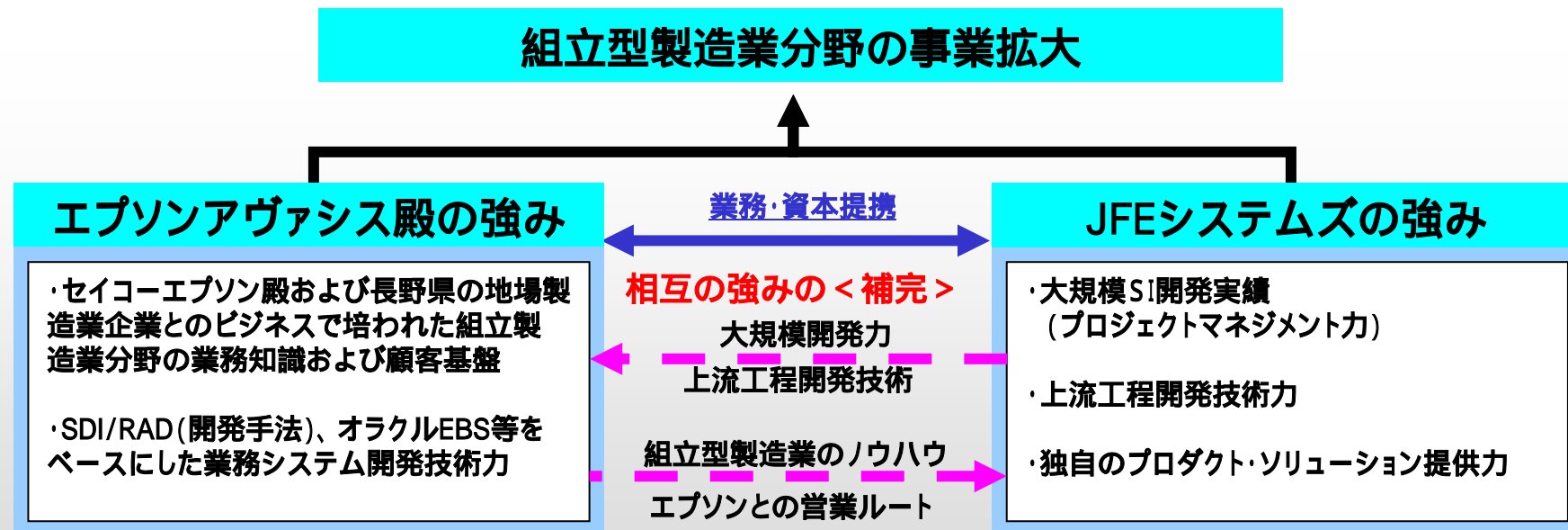
■ EA社との業務提携を目的にEA社に出資(06/3末、190株、95百万円、保有比率5.6%)。

< EA社の概要 >

(本社) 長野県上田市 (売上高) 34億円、(経常利益) 3.3億円 (05.3期) (従業員) 310名
 (株主) 東京中小企業投資育成29.4%、会長他24.5%、I/Pソ18.8%、従業員持ち株会5.0% 他
 (事業) 組込みソフト開発、業務システム開発

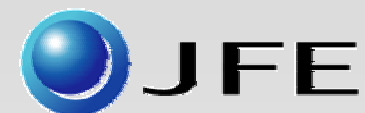
< 提携の目的 > 08年度売上寄与5億円を狙う。

・当社: エプソンおよび地場の企業へのアプローチ、大手自動車メーカへの共同提案。



参考データ(単体指標等)

2006年3月期の業績(単体:対見込)



単位:百万円

	2006年3月期		増減	
	見通し	実績	金額	率
売上高	29,900	29,490	410	1.4%
経常利益	860	903	43	5.0%
(経常利益率)	2.9%	3.1%	-	-
当期純利益	410	462	52	12.7%
(当期純利益率)	1.4%	1.6%	-	-

2006年3月期の業績(単体:対前期)



単位:百万円

	2005年 3月期	2006年 3月期	増減	
			金額	率
売上高	29,021	29,490	469	1.6%
売上総利益	4,140	4,348	208	5.0%
(売上総利益率)	14.3%	14.7%	—	—
営業利益	554	923	369	66.6%
(営業利益率)	1.9%	3.1%	—	—
経常利益	561	903	342	61.0%
(経常利益率)	1.9%	3.1%	—	—
当期純利益	170	462	292	171.5%
(当期純利益率)	0.6%	1.6%	—	—

2006年3月期



事業別売上内訳(単体:対前期)

単位:百万円

	2005年 3月期	2006年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・システム事業(BAS)計	23,484	23,462	22	0.1%
(うちJFES向け)	12,997	11,182	1,815	14.0%
(うちJFES以外)	10,487	12,280	1,793	17.1%
プラットフォーム・ソリューション事業(PBS)計	5,537	6,027	490	8.8%
全社計	29,021	29,490	469	1.6%

2006年3月期



事業別売上総利益内訳(単体:対前期)

単位:百万円

	2005年 3月期	2006年 3月期	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・ システム事業(BAS)計	2,861	2,980	119	4.2%
(売上総利益率)	12.2%	12.7%	—	—
プロダクトベース・ソリュー ション事業(PBS)計	1,278	1,367	90	7.0%
(売上総利益率)	23.1%	22.7%	—	—
全社計	4,140	4,348	208	5.0%
(売上総利益率)	14.3%	14.7%	—	—

2006年3月期 販管費、営業外損益、 特別損益の増減(単体:対前期)

■ 販売費・一般管理費： 161百万円

(05/3:3,585百万円 06/3:3,424百万円)

・広告宣伝費等経費削減

■ 営業外損益： 25百万円

(05/3:6百万円 06/3: 19百万円)

■ 特別損益:+101百万円

(05/3: 178百万円*1 06/3: 77百万円*2)

*1:本社移転費用、商号変更費用等

*2:特別利益+656(退職給付制度終了益等)

特別損失 733(棚卸資産評価損等)

2006年3月期経営指標(単体)



単位:百万円

	05/3期 実績	06/3期 実績	増減	
			金額	率
有利子負債	2,715	1,900	815	30.0%
株主資本	7,374	7,576	202	2.7%
総資本	16,085	14,425	1,660	10.3%
株主資本比率	45.8%	52.5%	-	-
ROE	2.3%	6.2%	-	-
従業員数(人)	1,326	1,330	4	0.3%
売上高/人	21.9	22.2	0.3	1.3%
経常利益/人	0.42	0.68	0.26	60.5%

2007年3月期業績見込み(単体)



単位:百万円

	06/3期 実績	07/3期 見込	増減	
			金額	率
売上高	29,490	30,400	910	3.1%
売上総利益	4,348	5,400	1,052	24.2%
(売上総利益率)	14.7%	17.8%	—	—
営業利益	923	1,420	497	53.8%
経常利益	903	1,430	527	58.4%
(経常利益率)	3.1%	4.7%	—	—
当期純利益	462	720	258	55.8%
EPS(円/株)	5,890	9,178	3,285	55.8%

2007年3月期見込み 事業別売上内訳(単体)



単位:百万円

	06/3期 実績	07/3期 見込	増減	
			金額	率
ビジネスアプリケーション・システム事業(BAS)計	23,462	23,240	222	0.9%
(うちJFES向け)	11,182	8,458	2,724	24.4%
(うちJFES以外)	12,280	14,782	2,502	20.4%
プロダクトベースソリューション事業(PBS)計	6,027	7,160	1,133	18.8%
全社計	29,490	30,400	910	3.1%

2007年3月期見込み



事業別売上総利益内訳(単体)

単位:百万円

	06/3期 実績	07/3期 見込	増減	
			金額	率
BAS事業	2,980	3,710	730	24.5%
(売上総利益率)	12.7%	16.0%	—	—
PBS事業	1,367	1,690	323	23.6%
(売上総利益率)	22.7%	23.6%	—	—
全社計	4,348	5,400	1,052	24.2%
(売上総利益率)	14.7%	17.8%	—	—

2007年3月期見込み

販管費、特別損益の増減(単体)

■ 販売費・一般管理費：+592百万円

(06/3:3,424百万円 07/3:4,016百万円*1)

*1:営業強化、社内情報インフラ整備、研究開発等

■ 特別損益： 88百万円

(06/3: 77百万円*2 07/3: 165百万円*3)

*2:棚卸資産廃却損、退職給付制度終了益等

*3:事務所移転費用 等

2007年3月期見込み経営指標(単体) JFE

単位:百万円

	06/3期 実績	07/3期 見込	増減	
			金額	率
有利子負債	1,900	1,900	0	0.0%
株主資本	7,576	8,110	534	7.0%
総資本	14,425	15,700	1,275	8.8%
株主資本比率	52.5%	51.7%	-	-
ROE	6.2%	9.2%	-	-
従業員数(人)	1,330	1,323	7	0.5%
売上高/人	22.2	23.0	0.8	3.6%
経常利益/人	0.68	1.08	0.40	59.2%

連結子会社KITシステムの業績



< 会社概要 >

- ・資本金:2億円
- ・設立:1986年10月
- ・株主:当社67.5%、JFE商事32.5%
- ・社長:坂倉彰一 (会長:岩橋 誠)
- ・従業員数220名(2006年3月末)
- ・事業内容:情報システム開発/運用、情報通信機器販売/付帯サービス

< 業績 >

単位:百万円

	2005年 3月期 A	2006年 3月期 B	2007年 3月期 (予想)C	増減	
				B-A	C-B
売上高	6,818	7,116	7,500	298	384
営業利益	282	158	150	124	8
経常利益	293	164	150	129	14
当期純利益	135	91	80	44	11

- ・2005年3月期は機器販売の減少により、売上高、利益とも減少。
- ・2006年3月期は一般顧客向けの事業の不振により損益が悪化。
- ・2007年3月期はグループ会社向け大型案件の収束に伴う収益の減少を一般顧客向けの拡大で補う。

JFEシステムズ株式会社

ご静聴ありがとうございました。

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。